

事業番号	09 06 11	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野でかがやく農業女子応援事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト	7-3-1活動人口増加プロジェクト 6-2-3誇りある暮らし実現プロジェクト		課・局・室	農村振興課		
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 5 移住・交流の促進		E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	1-3 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造		実施期間	H27 ~		
	施策展開	2-(1) 多様な人材の育成 (イ) 多様なライフスタイルの展開 3-(2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保 ア 県内経済を支える労働力の確保 イ 若者・女性の就業促進					

### 1 事業の概要

目指す姿	女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を、社会全体に発信することで、農村で活躍する女性の姿を広く周知し、農業女子の存在感を高め、併せて職業として農業を選択する若手女性等を増加させる。											
現状（予算編成時）	農村で暮らす若い女性は、お互いに共感する仲間とつながる情報手段がなく、いきいきとした活動に発展している事例が少ない。また、都会に住む若い女性は、長野県の農村の暮らしについての情報量が少なく、農業・農村にマイナスイメージを持っている方も多い。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 若い女性農業者の活動促進には、農業者への指導体制を有する県の関与が必要である。また、効率的な農業の担い手の確保・育成には、県就農コーディネーターによる相談活動や、県と関係機関、県民が連携した地域での就農支援活動が不可欠である。長野県食と農業農村振興計画				県民との協働による実施： 実施中					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	○農業女子とその応援隊のネットワークへの登録数 300人 (設定理由:若い農業女性と都市に住む女性等について、SNSによるネットワークの拡大と情報量の増加を目指して設定) ○新規就農者数(40歳未満の女性) 43人 (設定理由:新規就農者のうち女性の増加を目指して設定)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29					
				(当初)	(決算)	(当初)						
	長野でかがやく農業女子応援事業	直接委託	〈いきいきプロジェクト〉 若い農業女性同士による話し合い、異業種との交流 〈わくわくプロジェクト〉 都会に住む女性に対する情報の発信、フォーラムや農業体験ツアーの開催、農業体験の受入促進	4,604	4,001	4,604						
			合計	4,604	4,001	4,604						
事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	5,566	4,604	4,604				目標	成果	達成状況	
		補正予算				ネットワーク登録数	-	269人	300人	354人	達成	500人
		合計(A)	5,566	4,604	4,604				新規就農者数(40歳未満の女性)	30人	35人	43人
	Aの財源	一般財源	1,825	4,604	3,457							
		県債										
		国庫支出金										
		その他	3,741	0	1,147							
	決算額(B)	5,285	4,001									
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10								
	概算人件費(C)	828	791	791								
	概算事業費(B(A)+C)	6,113	4,792	5,395								
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>NAGANO農業女子facebookは、イベント情報の積極的な発信、コメンター等の投稿により充実することができた。また、フォーラムやバスツアーの開催、パンフレット等の配布、HPによるPR活動を実施することで、NAGANO農業女子の活動に賛同する若い農業女性及び県内外のサポーターの増加により、ネットワーク登録目標を達成できた。</li> <li>新規就農者数は、増加傾向にあるものの、近年の景気回復基調により有効求人倍率が増加したことなどから目標を下回った。</li> </ul>											

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	地域の核となる農業女子コアメンバーの活動支援を図るとともに各地区での農業女子活動や仲間づくりへの支援を実施していく。また、フォーラムの拡充や県外就農相談会を新たに実施するなど、本県農業の魅力発信、農業女子の自主活動の充実を図る。